


酒井 紀之

さかい のりゆき / Sakai Noriyuki

所属・役職	株式会社ソフトウェア開発 代表取締役社長 東北情報通信懇談会事務局長 / 多摩大学情報社会学研究所 客員 研究員	
活動拠点	東北・関東・関西	
略歴	<p>1991年 福島県郡山市にてソフトウェア開発を起業（現任）</p> <p>2011年 情報支援プロボノ・プラットフォーム（iSPP）共同代表理事就任</p> <p>2017年 総務省電子政府推進員・テレワークマネージャ</p> <p>2018年 東北情報通信懇談会事務局長就任</p> <p>2023年 総務省地方公共団体のDXアドバイザー就任</p>	
こんなことを支援できます	<p>① ネットワークインフラ・情報システム構築</p> <p>・庁内ネットワーク（業務系・情報系・LGWAN）の設計・構築から長年にわたる運用まで一貫して支援。ローカルブレイクアウトの設計支援や最適な事業者の選定・紹介など、インフラ基盤の整備を幅広くサポートいたします。</p> <p>② 生成AI・DX推進</p> <p>・Claude・ChatGPT・Difyをはじめとする生成AIツールの実践的な利活用についてアドバイスを提供。さらに、LoRAファインチューニング等の技術を活用したローカルLLMの導入についても、計画段階から運用定着まで一貫した支援を行います。</p> <p>③ 防災・デジタルデバйд対策</p> <p>・東日本大震災の被災地支援で得た実体験をもとに、防災ICTやBCP（事業継続計画）の構築を支援。あわせて、デジタルデバйдの解消に向けた地域住民向けのICTリテラシー向上プログラムも実施しています。</p>	
自治体向けメッセージ	<p>庁内ネットワーク（業務系・情報系・LGWAN）の設計・構築から運用まで、長年にわたり一貫して携わってまいりました。公共団体における情報システム基盤の専門的知見を有しております。近年はDX推進の潮流を踏まえ、大学の研究活動として自然言語処理を基盤としたLLMの追加学習・LoRAファインチューニング・Instructチューニングに関する技術実証研究に取り組んでおり、その知見を活かしたAI及びローカルLLM導入に関するアドバイザーや講義も行っております。</p>	

<主な専門分野>※特に得意とする専門分野を3つまで掲載

生成 生成AI活用

災 防災

ネ ネットワークインフラ

<地域情報化に関する実績>

インターネットの普及機に、宮城県および仙台市において、インターネット基盤・認証基盤の導入に関するアドバイザリーを担当。宮城県名取市では情報アドバイザーとして、情報政策全般にわたる助言に従事いたしました。

東日本大震災の発生を受け、情報支援プロボノ・プラットフォーム（iSPP）の共同代表理事として被災地への情報支援活動を推進。こうした自治体支援の功績が認められ、2017年に東北電気通信協力会長表彰を受賞しております。

東北情報通信懇談会では事務局および事務局長を歴任し、情報通信を通じた公共の福祉の向上に尽力してまいりました。民間企業としても、東北各地区の生産工場向け制御システムを多数構築した実績を有しております。

近年は社内に研究員制度を創設し、次世代を担う若手人材への技術・知見の継承と育成指導にも注力。セミナー活動においても、本アドバイザー制度とは別に、国土交通省東北地方整備局のDXセミナーにて基調講義を務めるなど、幅広く知見の発信に取り組んでおります。